

作業療法見学実習 (旧: 早期体験実習)

2022(令和4)年度
奈良学園大学 保健医療学部
リハビリテーション学科
作業療法臨床実習指導者会議

作業療法見学実習の変更点

内容	旧カリキュラム
実習名	早期体験実習
時期	8月第1週～第2週
実習期間	1週間 ※事前・事後セミナー含む
実施形態	見学実習



内容	新カリキュラム
実習名	作業療法見学実習
時期	2月 ※令和5年度の実習期間 令和6年2月19日～3月1日
実習期間	2週間 ※事前・事後セミナー含まない
実施形態	見学実習

作業療法見学実習の目的

1. 臨床実習指導者のもとで見学を中心とした実習を行う。
2. 本実習を通して、作業療法士が勤務する病院が果たす社会的役割や機能の概要とその病院における作業療法士の役割や業務内容を把握する。
3. また、医療従事者同士や医療従事者と対象者との関係を見学し、コミュニケーションの重要性を理解する。
4. さらに、作業療法士となる自己の適性について深慮することを目的とする。

作業療法見学実習の到達目標

1. 医療・保健・福祉領域における作業療法士の役割・分担について理解する。
2. 疾病や障がいをもつ者の問題を身体的側面・社会的側面の双方から理解する。
3. 作業療法士と関わる他の関連職種についての役割・分担・専門性を理解する。
4. 作業療法士を目指すにあたっての、自己の適性を理解する。

作業療法見学実習の内容

事前セミナー
(臨地実習前に1日実施)



臨地実習
(令和6年2月19日～3月1日)



事後セミナー
(臨地実習後に1日実施)

- 接遇・マナー・服装の指導
- 実習の目標の設定
- OTの役割, チーム医療, ICFなどの予習

- 見学施設の概要・役割の理解
- 作業療法業務の見学
- チーム医療(多職種連携)の見学または指導
- ※可能でしたら関連施設や他職種(e.g. PT, ST等)の見学
- セミナー報告書の作成

- 目標達成度の振り返り
- セミナー報告書の発表
- 学習到達度の評価



作業療法見学実習の内容

事前セミナー
(臨地実習前に1日実施)



臨地実習
(令和6年2月19日～3月1日)



事後セミナー
(臨地実習後に1日実施)

- 接遇・マナー・服装の指導
- 実習の目標の設定
- PT・OTの役割, チーム医療, ICFなどの復習

- 見学施設の概要・役割の理解
- 作業療法業務の見学
- チーム医療(多職種連携)の見学または指導
- ※可能でしたら関連施設や他職種(e.g. PT, ST等)の見学
- セミナー報告書の作成

- 目標達成度の振り返り
- セミナー報告書の発表
- 学習到達度の評価

作業療法見学実習の内容

事前セミナー
(臨地実習前に1日実施)



臨地実習
(令和6年2月19日～3月1日)



事後セミナー
(臨地実習後に1日実施)

- 接遇・マナー・服装の指導
- 実習の目標の設定
- PT・OTの役割, チーム医療, ICFなどの復習

- 見学施設の概要・役割の理解
- 作業療法業務の見学
- チーム医療(多職種連携)の見学または指導
- ※可能でしたら関連施設や他職種(e.g. PT, ST等)の見学
- セミナー報告書の作成

- 目標達成度の振り返り
- セミナー報告書の発表
- 学習到達度の評価

